

三万七千七百五十五円、歳出総額一億三千八百八十二万四千七百四十四円、実質収支額八〇八万六千九百八十九円の不足、翌年度歳入繰上充用金をもって不足額を補てん。

(可決 全員)

■平成十七年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

歳入総額八億四千四百五十五万三千三百五十五円、歳出総額八億三千三百六十八万三千三百五十五円、実質収支額一億四千四百五十五万二千三百五十五円。

(可決 全員)

■平成十七年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

歳入総額二億三千八百一十一万九千八百六十六円、歳出総額二億二千四百七十七万七千九百九十九円、歳入歳出差引額一億一千四百八十七万七千六百六十七円、繰越明許費繰越額三億三千七百八十五万〇〇〇円、実質収支額一億六万三千四百〇七円。

(可決 全員)

■平成十七年度農業集落排水事業特別会計歳入

歳出決算の認定

歳入総額八千六百一十五万七千五百八十五円、歳出総額七〇七十八万四千八百三十九円、実質収支額一億五千三百七十七万二千七百六十六円。

(可決 全員)

■国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部が改正され、出産育児一時金の額を三〇万円から三十五万円に引き上げるもの。

(可決 全員)

■福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部が改正され、特定療養費が保険外併用療養費と改められたもの。

(可決 全員)

■母子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部が改正され、特定療養費が保険外併用療養費と改め

られたもの

(可決 全員)

■平成十八年度一般会計補正予算(第二号)

国庫支出金で町道寺村峯岩戸線災害復旧工事に二一九万四千円と名野川小屋内運動場耐震補強事業三〇九万五千円の合わせて二五〇万三千九百九十九円



耐震診断が行われます (長者小)

歳入歳出予算の総額に六五九二万八千円を追加し、歳入歳出それぞれ七億八千二百〇〇万八千円とするもの

主なもの
歳入

増額補正。
県支出金は公立小中学校耐震化促進事業補助金一六八万四千円、農業用施設災害復旧費補助金三九七万二千元など四三三万七千円の増額補正。
繰入金金は財政調整基金

繰入金で一般財源調整により七五一〇万六千円の減額に対し、吾川地区振興基金繰入金三五〇万円など増額し七〇六一万六千円の減額補正。

繰越金は十七年度からの繰越額が確定され一億二四七〇万一千円の増額補正。

町債は許可制から協議制へと変わり、県から同意等予定額の通知に基づき、臨時財政対策債を七五〇万円減額、過疎債を七四六〇万円など減額に対し、災害復旧事業債を一四二〇万円増額し六八二〇万円の減額補正。

歳出

各費目の人件費の補正は、退職者の給与、手当の減、共済費で互助会の負担率の変更と共済組合等負担金の一部に二重計上による減額。

民生費は職員の人件費の減額などにより、一七八万七千八百八十円の減額補正。

衛生費は職員の人件費が八五五万五千円の減額、簡易水道会計繰出など三四七万八千円減額に

対し秋の総合健診委託料など一八万四千円増額し一〇五九万九千円の減額補正。

商工費は引地公園整備事業の中止に伴い七六三〇万円の減額に対し、ゆの森源泉送水管修繕など一五〇万円増額し七四六万九千二百円の減額補正。

土木費は職員の人件費で三四六万八千一百円の減額に対し、町道寺村峯岩戸線の迂回路改修など一〇九万四千円と河川補修費一〇〇万円を増額し二二六万八千四百円の減額補正。

教育費は名野川小屋内運動場耐震補強工事及び長者小学校耐震診断に一五五〇万六千円の増額、池川中屋上補修工事に四〇〇万円と職員の退職に伴う代替賃金に三〇七万六千円など増額で二三七九万七千円の増額補正。

災害復旧費は農地災、農業用施設災、公共土木施設災を合わせて八三二八万円の増額補正。

諸費は財政調整基金積立金に、決算剰余金の積み立て八七五〇万円の増額補正。

公園地引跡土地利用について 意見(要望)が分かれました

淡水魚

センター

問 藤原陽三議員

引地公園だが、町長の行政報告で国土交通省が、残土処理場として再活用し、公園としての要素を加味した整備を進め最終的に二〇万立方以上の処理が検討されているが、着工して一〇年あまりが経過している。

今後地元関係者への説明会もあると思うが、事業に期待する住民が利用できる広場及び施設が一部でも早期完成の努力を願ひ、最終的には地域振興基金なども生かして、仁淀川水系の淡水魚センターなど子どもたちにとって、夢のある施設も必要ではと思うが。

答 町長

まだ決定したものでないが、橋トンネルの残土処理だけに引地を利用することは、許されない。地権者に対しても自然的な公園を造るということでは了承をいただいた経過もあり、町の要望と国土交通省の計画と合わせ、立派な公園にしていくための努力をしていきたいと思っている。

残土処理場とする場合費用は全部国土交通省でやるわけで、町の金を使わず整備をしていきたい。いろいろな事情から今日まで延びていることに對し、地権者の方々は申し訳ないができるだけ早期に、そして納得のいく公園整備を進めていきたいと思っている。

消防訓練施設

問 岡田良成議員

当初の引地公園は三月議会から論議され、町民からは否定的な話もあった。国土交通省で、話は変わってきたと思う。地域住民、また町民の意見を聞きながら仁淀川町にふさわしい公園に。

問 西森(常)議員

引地の問題は今まですごい論議があったが、あの論議は何だったのか。中村の入り口へ二〇万立方理めた後の構想があったのではないか。

答 産業建設課長

事業認定を受ける以上は具体的な構想が必要であるが、中村の上部計画の具体的なものは出ていない。

問 西森(常)議員

いろんな事業をする中で地権者は大事だ。同意をもらい、代替え地を欲しいといった。それが公共施設で税金対策にならないことなら反対は想定内のことでしようが。中村が駄目になったといつて、簡単に変わるものか。

答 町長

変わってはいない。できるものなら中村へやりたいと思つて、今まで交渉を長い年月かけて気長にやってきた。それが駄目だとすると、どこかへその残土処理場を決めなければならぬ。代替え地として候補に挙がったのが引地であつて、交渉のできる場合とできない場合があるので理解を。

雇用の場を

生む施設

問 西森(常)議員

引地の跡地利用にしても、これからできる施設

はやはり雇用の場を生む木材関係とかに力点を置いて造ってもらいたい。私は二人の意見には反対だ。

答 町長

始めから消防の施設を造るとか、水族館を造るとか私は一切言っていない。ただ議員の要望なので聞いておるだけで、それを造るとか造らないとかは別の問題。

問 岡田議員

橋の隧道の残土処理であれば国土交通省がやってくれる。これはありがたい話だと思う。お金をかけないで、皆さんの要望を吸い上げ、町民の心を素直に受けたときに訓練所を欲しいと言うから、意見を言つたのである。皆さん方から喜ばれる公園にしたかどうかというのが私の意見だ。

答 町長

岡田議員は消防の訓練所という表現になつているが、多目的に使える公園と私は理解している。全部入れば二三万立方入るといふことで、国土交通省からたき台が出てきたというだけであつて、これから地元並びに住民から喜んでもらえる公園を造るためには、町として独自の案をもち、国土交通省と交渉していきたい。

問 大原議員

仁淀川町を通る高規格道路化は、いつごろの予定か。引地公園予定地に残土処理場として国が関与することは、本町にとって有意義であると思う。ぜひ積極的に進めていただきたい。

答 町長

高規格道路は、仁淀川町はどこを通るとか示されていない。調査区間になつてはいるが、実施区間になつていない。今、野老山でやつてはいるが計画は横倉までされておられ、トンネルと橋が二つほど架かるあたりしか分かつていない。町としては野老山からどういう方法で高規格道が抜けてくるか分からない。ただ橋を早期に完了させてほしい、

そうしたら次の段階が見えてこようかと思うわけで、そのことを要望している。

問 若藤敏久議員

今まで引地公園を言うのは私だけであつたが、引地の住民が残土場にしたら砂ぼこりがきて困る。早く公園を整備してもらいたいというのがこれまでの経過だ。今度残土場といって、引地の住民の承諾はもらつて、納得しているか。今までの答弁は何だったのか。

答 町長

これから地域の方の理解を得なければならぬが、国土交通省がたたき台を示してきた段階なので、それ以上のものは進んでいない。町として中村が絶対駄目という段階になって、次の受け入れ先を模索し、引地公園の話が出てきた。一つの案が概略でもできた場合には真っ先に地権者と協力をしていただけという話を進めていきたい。砂ぼこりなどは道の舗装もしており、入口の整備もこ

れからやる予定である。今まで整備した所も活用しながら進めていく。

問 岡田議員

減額された予算、そして引地公園の形が変わってくる、財政的に厳しいときに国交省がやつてやるといえば私は賛成。地権者や地元の方々には工事について説明をし、協力を願ひ、前向きな話をしてはどうか。提言。

教育研究所

ALTが 1人減ったのはなぜ… 活動が見えてこない

問 農本規仁議員

教育研究所費だが、設立されたばかりで一般職給与が減額されているが。

答 教育長

当初予算は職員一人分を入れており、九月の総合的な職員給料の調整段階で除いている。

問 農本議員

外国語指導助手が九月から、変わったのは理解をするが、広い仁淀川町に、中学校三校、小学校五校を二人で回っている現実がある。英語の授業に差し障りがあるかないかを、英語担当の先生からお聞きした。始まったばかりで現実的な問題はないが、いづれ支障が出てくるのではないかと言われたが、なぜALTが一人減ったのか。

また教育研究所の職員が一人減って教育の後退があるのでは。国の方針も中教審は小学校から英語の授業を始めたという答申も出されている。町の方で対策、増員なり考えられないものか。ま

た教育研究所の職員もこれでよいものか。

答 教育長

二人のALTで三つの中学校なので、それぞれベース校を一学期ごとに担当して、それを三回順繰りに回すことで公平性を保っている。近い将来小学校へ英語教育がどういう形で導入されるか議論中ということだが小学

校でも国際理解、外国語の教育はすべきだと思っている。

問 農本議員

正直なところ一人外国人を入れていただけたらありがたいと思っているが、経費と日本語が理解できない状態であるので、有効に活用するにはそれなりのスタッフがいる。この人達を有効に活用する制度、仕組みが必要と思う。研究所も教育

答 町長

教育は教育委員会という独立した機関があるので、委員会の意向を踏まえて今後教育行政にあたっていききたい。

問 若藤議員

教育研究所が設置された。内容をもっと周知徹底させないと活動が見えてこない。仁淀高校の問題も仁淀高校振興対策協議会ができていて、ただで、まったく活動ができていない。

研究所も名前だけだと思ふ。ALTも必要と思ふ。三人を二人に減らしたのも納得できないが、もっと目に見える活動をして、我々も協力するの



教育研究所（公民館）

問 片岡政徳議員

学校教育費の耐震診断委託料と設計委託料、設計監理委託料は別々の設計と耐震なのか。

答 教育次長

設計監理委託料は名野川小学校屋内運動場、設計委託料は長者小学校、耐震診断委託料は二次診断の長者小学校。

問 大原議員

子どもは減ってくるのに耐震工事をしなければならぬ。大変経費がかかるから木造の適正規模に建て替えた耐震性の新築が安い、そういう事態が出ている。適正な規模の学校に建て直したらどうか。町内の木を使えば安く入る。検討を。

答 教育長

子どもの生命を守ることは非常に大事で、学校の耐震があるのだが、同時に現在の小学校の位置は集落の中心地にあるので地域の防災拠点という考え方も入っている。小学校を順番にやっていく計画で、木造の建て替え

に関しては、答弁できない。今の計画のままでいきたい。

問 大原議員

予算化を否定するのではない。発想を変えなさいという時代がきている。町内の木で建て替えるすれば、仁淀川町の雇用創出になる。将来雇用の場もない、そういう中で木材を加工して地域の公共事業に使っていくというのをふまえて提言をしている。

答 町長

現状は、池川小学校以外耐震の必要性がある。仁淀も吾川も学校を壊すと相当な金が産廃処理のため必要になる。建て替えは当分の間考えられないと思うが、極力公共事業には木材の使用を考えていくべきだと思っている。

問 福原克彦議員

人件費全体の給与費明細書の当初予算と比較したものとの提出と説明を。それと道路維持費で賃金、原材料で一一〇〇万

円ぐらいあるが、業者も仕事がないときに直営班とか地元でなく、流用して請負金で検討を。

答 総務課長

人件費の補正が大変多くなっている。これは三月と六月の職員の退職、

げた。工事請負費へということだが、地元と協議して工事の少ない時期なので検討してみたい。

問 西森(常)議員

しもなの郷で、去年から囲炉裏の要望がでている。県の補助がつかなか



町内唯一、耐震工事を必要としない池川小(土居)

四月の人事異動に伴う予算の組み替えを行ったもので、お手元に回した資料の通り。

答 産業建設課長

議会の議決後すぐに取リかかるということで、直営班でやる原材料へあ

ったようだが、一般財源を投入してもやってもらいたい。ボランティアでやっているの、温かい行政の目を向けてはどうか。

答 町長

前々から聞いており、

来年度の県コミュニティ事業でやるつもり。

問 若藤議員

平成十二年度は三町村の交付税合わせて五〇億円超と思う。それが一億五千万円減、一億八千万円減ということで、現在三一億円ぐらいになり、五年、六年の間で二〇億円ぐらい下がっている。40%交付税が下がったことは住民サービスがそれだけ落ちたことになる。我々議員も特別職も三分の一になった。しかし職員数は六年前からほぼ同じ、職員に対する交付税は、三一億円のうち人件費としていくらきっているのか。

答 総務課長

平成十二年度は四八億円あまり、現在は三八億円、十七年度と十二年度を比較すると約一〇億円の減で、率にして約25%減少と改めていただいて、交付税の人件費に占める割合は、十七年度のベースで普通交付税三二億四千万円あまりの内九億二千万円が交付されている。

問 若藤議員

現在仁淀川町の人件費は十二億いくらということは三億円ぐらいは、一般財源から基金を崩したり、住民が払った税金、自主財源の中から職員給料がいつているということとは、約三億円は住民の福祉が切り捨てられている。人件費の分を頑張って仕事をしてくださいと言いたい。

(可決 多数)

■平成十八年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に五二八万一千円を追加し、歳入歳出それぞれ一億一六三万五千円とするもの

新たに市町村間の保険料の平準化や財政の安定を図ることを目的に、三〇万円を超える医療費も高額医療の対象となる保険財政共同安定化事業の創設に伴い十月から実施に向けた補正。

(可決 多数)

■平成十八年度国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に六五六万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ二億五九六七万七千円とするもの

平成十七年度からの繰越額が確定したことに伴う補正。

(可決 全員)

■平成十八年度介護保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に三二六八万七千円を追加し、歳入歳出それぞれ一億三二一六二万五千円とするもの

調整交付金の概算決定と平成十七年度からの繰越額が確定したことに伴う補正。

(可決 全員)

■平成十八年度簡易水道事業特別会経補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に五九四万八千円を追加し、歳入歳出をそれぞれ一億四九〇四万六千円とするもの

単独事業分の繰入金、町債などの補正。

(可決 全員)

■平成十八年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に一三三七万二千円を追加し、歳入歳出それぞれ七三〇一万二千円とするもの

平成十七年度からの繰越額が確定したことに伴う補正。

(可決 全員)

■林道桐見川白石川線等管理組合規約の一部改正

越知町収入役が廃止されたことに伴い、収入役の事務を助役に兼掌させることの規約改正。

(可決 全員)

■平成十八年度田村簡易水道増補改良工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 五二七一万円
契約の相手方 (株)大一群組

田村地区七〇世帯一八七人に供給する施設で、給水開始から二二年が経過している。近年渇水期になると現在の取水地点の水量が極めて少なく、生活に影響を及ぼしていることから、新しく集水堤の設置、導水管の敷設、減圧水槽二基の設置などを行うもので、工期平成十九年三月一〇日を予定。入札は平成十八年八月三十一日に町内九業者で行った。

平成十八年度十七災林道下土居桧谷線台風十四号(一号箇所)災害復旧工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 五二六〇万五千円
契約の相手方 栄宝生建設(株)

平成十七年九月四日から九月七日にかけての台風十四号の豪雨により、山側斜面が崩壊したもので、工期は平成十九年二月二八日を予定。入札は平成十八年八月三十一日に町内の九業者で行った。

問 大原議員

契約の相手方住所が高知市になっているが、法人税や償却資産税などの仁淀川町への徴収割合は。

答 税務課長

法人関係の住民税は、従業員数割で法人税割がかり、法人の均等割は資本金額によつて変わる。償却資産は各法人ともいくつかの事業所をもっていると思うが、一月一日現在においてその償却を定置している場所であり、池川に工事で重機を置いておれば仁淀川町に償却資産税は入る。

問 若藤議員

指名のときに、池川の方をしたり高知の方をしたりするのか。池川であれば問題なしにいくのに、栄宝生が落札して、契約が奥さんだったり、旦那だったりするわけか。

答 総務課長

指名願いが十七年度と十八年度と違うため。

問 若藤議員

高知市だったら、税金が仁淀川町へ入るのが少なくなる。それは関係ないか。

答 税務課長

それは関係ない。本店だけの計算ではなく栄宝生という法人として法人税を計算する。

(可決 全員)

■教育委員の選任



平成十八年九月二九日教育委員の任期満了に伴い、再任するもの

住所 仁淀川町土居甲八〇三番地
氏名 赤堀 晟
生年月日 昭和六年八月二九日生

(同意 全員)

■人権擁護委員候補者の推薦



平成十八年十二月三十一日をもって任期満了となるため、引き続き推薦したく意見を求めるもの

住所 仁淀川町森二五七

七番地九

氏名 片岡 健二

(適任 全員)

生年月日 昭和十五年十二月二日生

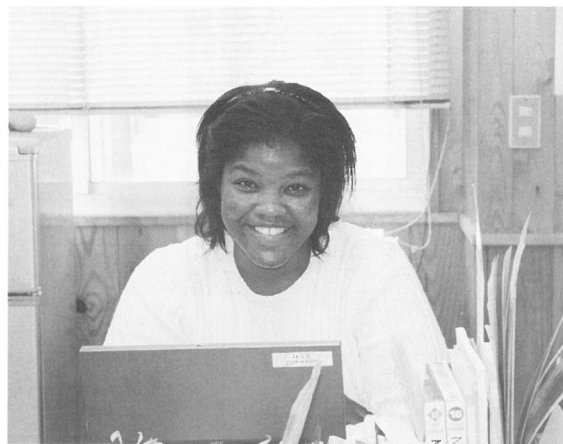
教育委員会の報告

教育長 大野 敏光

仁淀高校振興対策協議会は、高校存続について中学生全員と保護者全員に意識調査を実施した。また、意見交換会を行ったが、参加者総数二十一人と少なく、吾川・池川地区では、PTA会長、学校長のみ参加であった。仁淀地区の意見は、高校進学を選択肢がなくなる。兄弟がいると経済的に厳しく仁高へ行かせたい。存続してほしいなどの意見が出された。

全中学生へのアンケートでは、三年生八人、二年生四人、一年生二人で総数の8%。保護者へのアンケートでは、二十三世帯、27%が仁高へ進学させたいと回答があった。これらのことから生徒数確保が大変厳しい見通しを認識するとともに、大崎県教育長に厳しい現状を報告し、存続への理解を求めた。

ALTが二人に
外国語指導助手の、サリ、アマンダ、クリスの三人の契約が終了し、後任として、モニカ・ロイド、ゾイ・イズバークの二人が着任した。二人で三中学校を中心に活動してもらうのが保育所・幼稚園・小学校や一般の生涯学習においても国際理解教育のため頑張ってもらいたい。



モニカ・ロイド (アメリカ)



ゾイ・イズバーク (カナダ)



引地 橋



てっぺんとまと



名野川保育所

吾川中(2年生)では、総合的な学習の時間で10月11日から3日間、9カ所の職場に分かれて「職業体験」を行いました。

産業建設常任委員会 (岡田良成委員長)

現地視察 (土居川・富岡橋、赤石谷川、 寺村峯岩戸線災害現場、寺野駄馬線)



現地視察 (土居川橋・池川)

平成十八年九月一日十時三〇分より産業建設常任委員会を開催。委員長、議長、産業建設課長、課長補佐、池川地域振興課長、議会議務局長が出席。

池川地区、土居川橋、富岡橋の補強工事の件、老朽化で劣化が激しい、早期に対策を。赤石谷川砂防工事施設対策、急峻で危険、過去に崩壊対策工事を一部している。下流域に多数の住宅がある、対策工事が必要。池川第二区長から説明を受ける。

吾川地区、寺村峯岩戸線災害復旧の件。迂回路はあるが道は悪く時間がかかり、緊急時には支障の恐れがあり、生活にも不安がある。早い復旧工事を要望する。峯岩戸区長から説明を受ける。

長者地区の寺野駄馬線、当日委員より現地視察の提案があり採択し調査。民家が集中し道のない六世帯がある。延長すれば解消される。早期着工を要望、区長から説明を受ける。

四件は委員会決議で、前向きな取り組みを要望する。

請願

「青少年健全育成基本法」制定を求める意見書の提出に関する請願

紹介議員 片岡 政徳

青少年の健全育成は、すべての国民の願いである。しかし、青少年の荒廃は深刻な事態に直面している。今、求められているのは青少年の健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、一貫性のある、包括的、体系的な法整備が必要である。そのために、意見書の提出を請願するもの。

提出先 衆参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣
警察庁長官 内閣官房長官

意見書

集配局の廃止再編計画に反対する意見書

提出者 大原 儀郎

日本郵政公社は、完全民営化を前に、再編合理化を実施しようとしている。無集配局とされる大半は、離島や中山間地、過疎地の郵便局であり、地域住民の生活に必要不可欠なサービスを提供し、郵便局の存在はますます重要となっている。しかし、採算性のみを重視した合理化計画が実施されると地域に与える打撃は非常に大きく、地域破壊に繋がることが懸念される。そのために、意見書を提出するもの。

提出先 内閣総理大臣 総務大臣

地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる意見書

提出者 若藤 敏久

経済財政諮問会議は、基礎的財政収支の黒字化をめざすとし、「歳出・歳入一体改革」を議論している。そのなかで、総務相は収支改善のために「地方交付税は六兆円減可能」と試算したが、地方交付税は地方の固有財産であり、その削減は住民の暮らしや福祉サービスを切り捨てるものである。地方の事務の中で国が法律で義務付けているものは、その財源の保障を削るべきではない。そのために、意見書を提出するもの。

提出先 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 金融・経済財政政策担当大臣

高レベル放射性廃棄物最終処分場候補地への応募に反対する意見書

提出者 農本 規仁

核関連技術、特に放射性廃棄物地下処分技術は確立されているといえず、安全の保証はないと考えられる。そのために、意見書を提出するもの。

提出先 津野町長



10月19日、第20回全国消防操法大会(自動車ポンプ)で森分団(中央赤ベルト)は、9カ月間にわたり日夜猛訓練を重ね、晴れの準優勝を果たした。今回の快挙は仁淀川町の誇りであり町民に自信と勇気を与えた名誉な出来事である。(兵庫県立広域防災センター)

日記帳

7月4日	国道33号バイパス建設促進期成同盟会総会	7月27日	総会
9日	仁淀川町消防団夏季大会	8月30日	別委員会
13日	仁淀川町消防団夏季大会	8月4日	仁淀川再生のための勉強会
14日	吾川郡町村議会議員研修会	8月7日	四国地区町村議会議長会研修会
15日	県選出国会議員と町議長・町村議長意見交換会	8月10日	高知県緑資源特定森林圏整備促進協議会
18日	別委員会	8月25日	大峠トンネル改築促進協議会定期総会
21日	高知県協議会	9月1日	産業建設常任委員会
9月1日	産業建設常任委員会	9月29日	町村議会広報研究会
9月29日	町村議会広報研究会	9月30日	町村議会広報研究会
10月10日	大峠トンネル改築促進協議会定期総会	10月21日	池川中体育祭
10月18日	県政に対する意見交換会	10月24日	別委員会
10月25日	町村議会広報研究会	10月26日	新矢筈トンネル早期実現期成同盟会
10月29日	産業建設常任委員会	10月29日	郡議長会
11月3日	町防災訓練	11月5日	町議会運営委員
11月10日	敬老会(下名)	11月17日	敬老会(森山・名野川・正ノ石地区)
11月14日	第5回定例議会	11月18日	池川中体育祭
11月17日	敬老会(森山・名野川・正ノ石地区)	11月21日	池川中体育祭
11月24日	別委員会	11月26日	新矢筈トンネル早期実現期成同盟会
11月29日	産業建設常任委員会	11月29日	郡議長会

コラム



四代目の役目

両親を手助けしようと始めた家業の土佐和紙づくりも、九年目を迎えました。この八年間の中で土佐和紙づくりには私たち

高く澄みきった空、乾いた風、日に日に冷たくなる水。今年もまた和紙づくりの季節がやってきました。

そのような多くの人たちによつて今まで守られてきたことを実感しました。初めのころは紙漉のことはばかり考えていた私ですが、今では和紙を守っていくにはどうすればいい

家族だけでなく、原料の楮の皮をへぐる(けずる)人たちや、紙を漉く道具を作ってくれる職人さんなど、たくさんの方の力が加わっているというのを知り、土佐和紙の伝統は

尾崎あかり (岩戸)

かを考えるようになりました。時代とともに変わっていくものもあります。しかし変わらないうちに守っていく必要があります。機械化が進む中、手作業にこだわって、原料に地元産の楮・三桮を使

編集後記

保育園児が日常的にテレビゲームをしている話を耳にした。日本の未来が心配である。(西村)

小学校の運動会。笛の音、元気な子ども達の歓声が聞こえる。いい気候になりました。(尾崎)

町防災訓練で、災害は「忘れたころ」でなく「忘れんうちに」やってくることを実感!!(福原)

天高く 坪井の空に
人の声 ああ満月や あ
あ仁淀川 食欲・読書・
スポーツの秋 (野村)

ト、テンテン、秋葉
神社で池川神楽、少しづ
つ交流が、神も人も楽し
む、秋葉の秋祭り。(片岡)

豊穣の秋 食欲の秋
スポーツの秋 芸術の秋
自分はやはり移りゆく自
然を楽しみたい。(農本)

中学2年生の彼女と「イ
ルカ」のショーを見てきま
した。玉突きでなく「な
ごり雪」ですヨ!(西森)